

# 【議事概要】第 39 回 浜田市行財政改革推進委員会

日 時：平成 28 年 10 月 31 日(月)10:00～11:35

場 所：浜田市役所本庁 5F 議会全員協議会室

## 出席者

【委員】大橋敏博委員、光延忠彦委員、岩谷百合雄委員、榎岡正明委員、宮内浩二委員、~~小松文男委員~~、大谷克雄委員、~~花田香委員~~、賀戸ひとみ委員、細川良一委員、玉置龍一委員、岡本宏委員、岡本薫委員、野上理委員、市山多津子委員、下谷巧委員、佐古肇徳委員

【市】副市長、教育長、総務部長、~~地域政策部長~~(代)政策企画課長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、~~産業経済部参事~~、都市建設部長、議会事務局長、教育部長、消防長、~~上下水道部長~~(代)管理課長、広域行政組合事務局長、~~金城支所長~~(代)金城支所産業建設課長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、市長公室長、総務課長、~~財政課長~~、人事課長、行財政改革推進課長

---

## 議 題

### (1)報告事項

○浜田市第1期公共施設再配置実施計画【別冊(平成28年度版)】(案)について  
**資料に基づき、事務局から概要説明し、協議検討した。**

### (2)その他

**行財政改革全般について質疑応答を行った。**



## 委員意見

### 【浜田市第 1 期公共施設再配置実施計画【別冊（平成 28 年度版）】（案）について】

委員	対象施設の多くが旧那賀郡の施設であり、方針も廃止の文言が多く寂しく感じる。旧浜田市の類似施設はどのような方針となっているのか。あまりあがっていないように感じるが。
浜田市	今回別冊として報告した施設については、基本的に今年 3 月にご審議いただき策定した「浜田市第 1 期公共施設再配置実施計画」から変更等があったものである。その他の施設の方針については、「施設別方針一覧」に記載しており、その中には浜田自治区の施設についても記載してある。
委員	弥栄農産物処理加工施設第 2 工場については、売却または貸付を検討すると記載がある。売却が進まない場合、老朽化等により経費が必要となるが無償譲渡等の考えはないのか。
浜田市	売却のための公募を検討しており、今のところ売却方針を変更する考えはない。しばらくは売却の方針を継続したいと考えている。
委員	何年までに実施する等の期間は設定しているのか。
浜田市	現段階では設定していない。
委員	弥栄地区の住宅については、ほとんどが入居者等譲渡の方針となっている。その中、大坪住宅のみ建替えて譲渡となっている理由について伺いたい。
浜田市	大坪住宅は塚ノ元住宅を取り壊し新たに建設した住宅であり、現在は新たな人が入っている。あくまで耐用年数経過後にどうするかといった方針であり、耐用年数経過後には現入居者に対し譲渡を行う予定としており、将来的な話である。
委員	効果額の考え方についてであるが、例えば毎年 5 百万円ずつランニングコストが発生している物件について民間譲渡等を行った場合、将来発生するランニングコストが無くなったことで効果額とするのは分かりやすいが、別冊資料で説明いただいたもの、例えば別冊 P8 では計画どおり単独建替えを行い、当初 1 億 5 千万円の費用を見込んでいたものが、実際は 8 千万円程度で済み、差額 7 千 5 百万円が効果であるといった考え方でよいのか。当初の想定を多く見積もっていれば効果を出すことは容易になると思うが、この考え方でよいのか疑念がある。
浜田市	効果額の考え方については、別冊資料末尾の効果額一覧表をご覧ください。クリーム色の将来更新投資額、薄緑色のランニングコスト削減予測額で表記を分けていることを先程説明したが、ご指摘いただいた内容の前段については薄緑色のランニングコスト削減予測額についてであり、例えば平成 28 年度に廃止や譲渡を行った場合は平成 29 年度から効果額として計上されることとなる。 一方で将来更新投資額は今かかっていない費用になる。今かかっていない費用を効果額として扱うことについては内部でも議論があった。例えば何もなければ 1 億円かかるものが、方針を定めることによりそれが 0 円になったりするため、その差額部分を効果額と考えている。

委員	考え方は理解できた。しかし、実績が計画と倍半分も差があるとなると、そもそも当初の想定(シミュレーション)自体の精度がどうだったのかということになると思う。
浜田市	将来更新投資額の算出については計算式があり、別冊P4に記載がある。構造別更新単価表があり、例えば鉄筋コンクリート造であれば建替え時の単価は㎡当たり28万9千円として見積もっている。実際は工事だけでなく、設計や測量も必要になり、また建設物価等の影響もあるため、最終的に面積を減らして建築してもシミュレーションより更新費用が高くなるといったケースは可能性としては否定できないが、そもそもシミュレーションは、マクロな視点で将来的に必要な更新費用の目安として定めたものであり、目安に対してのオーバーorアンダーをひとつひとつ検証することについては、あまり意味のあることではないと考えている。まず方針を定め、方針どおりに進むかどうかには主眼を置いているため、あくまで将来的に必要な更新費用の目安と考えていただきたい。
委員	三隅ゴミ処理センター及び一般廃棄物最終処分場が廃止となっているが、三隅自治区のごみはどの様に処分されているのか。
浜田市	浜田市のごみ処理施設は一本化されており、エコクリーンセンター、不燃物処理場、埋立処分場で処理を行っており、三隅の当該施設については使用していない。
委員	浜田自治区のごみはすべてエコクリーンセンターなどで処理しているのか。
浜田市	全自治区共通である。そのためこれらの施設は残すが、使用していない施設については廃止する。
委員	処理容量は賅えているのか。
浜田市	賅えている。
委員	処理量が大きすぎて、施設の耐用年数が短くなるのではないかと思います。
浜田市	ごみの排出削減を行っていただきたい。市の重要施策である。
委員	細かい所ではなく大枠で伺いたいが、例えば御便殿、浜田郷土資料館、世界こども美術館、石央文化ホール、ペ・アーレ浜田、総合福祉センター、消防署などの市の方針を聞きたい。
浜田市	全施設の方針については「施設別方針一覧」に記載してある。御便殿や郷土資料館等については第1期実施計画の「今後の具体的計画」欄に記載がある。第1期実施計画に掲載されていない施設については、概ねの方針は施設別方針一覧に記載があるとおりが、詳細については現時点で固まっておらず、具体化した段階でローリングの中で計画に含めていくという整理にしている。
委員	「施設別方針一覧」中、第1期実施計画欄に番号の記載がない施設についてはこれから検討を行うといった方針で、番号の記載がある施設については今から考えていきましょうといった考えでよいか。
浜田市	基本的な考え方はそのとおりである。ただし、耐用年数に関わらず、前倒しで実施していく可能性もある。第1期実施計画の対象外となっている施設についても、今後前倒しで実施していくとなった場合は、今回のように報告の対象となる場合もある。

委員	公共施設再配置実施計画の方針については、すべて議会で承認を得た上で提示されたものと判断してよいか。
浜田市	全体の実施計画については、今年 3 月に行財政改革推進委員会に諮り、次に議会特別委員会に諮り、了解を得た上で全議員が出席される議会全員協議会に報告し承認を得ている。今回の別冊(平成 28 年度版)(案)については、本日の推進委員会で了解を得た後、11 月 14 日の議会特別委員会で本日同様ご審議いただき、12 月議会の全員協議会で報告させていただくこととなる。進捗管理については当推進委員会、議会、行政間で連携しながら進めて行くこととしており、ご質問頂いたとおりである。
委員	これまでの当推進委員会の内容を議会は掌握されているのか。
浜田市	同じ資料を用い、同じ説明を行っている。結果についても議事録を作成し、ホームページにも掲載しており、どなたでも閲覧可能である。一言一句同じとは言えないが、大筋では同じであり、議員にもご理解をいただいていると認識している。
委員	今回の資料は別冊(案)となっており、この資料を議会へ提出されるのか。
浜田市	そうである。
委員	旧浜田警察署を市の庁舎として活用すると聞くと、購入されるのか、それとも賃貸されるのか。また、耐震工事が実施されていないはずであり、費用についても伺いたい。
浜田市	当初は更地にして市が購入する計画としていたが、検討段階で庁舎が手狭な状況もあり、しばらくの間は分庁舎として利用する計画としている。県との売買契約は完了していないが、新年度予算で予算化し契約を進める予定としている。総額については、現在詰めている段階であり、平成 29 年度当初予算で要求するため、その際に説明させていただきたい。耐震については、県により調査をされ、耐震性が確認されていると伺っているため、内部改修を行った上で使用することとなる。
委員	各支所には、空き室が多くあるが、活用は検討されないのか。
浜田市	各支所庁舎については、耐震診断は完了したが、耐震改修工事は完了していない。改修しそのまま使用するのか、あるいは方針にあるように複合化するのとか等、様々な選択肢について検討しており、方向性が明確となっていない状況にある。空スペースについて地域の集会所等として使用することは可能であり、一部の支所ではそのような活用を検討している状況にもある。希望があれば支所に話をさせていただき、市民の皆さんに利用しやすいように考えていきたい。
委員	旧浜田警察署を購入し何に使用するのか。
浜田市	庁舎として使用する予定としている。本庁が手狭となっており、旧市民会館跡地に分庁舎が 2 棟建っているが、一つは簡易なプレハブ構造であり、その解体や周辺の古い庁舎として利用している建物を解体し、旧警察署へ一部集約したいと考えている。また、西分庁舎には教育委員会・上下水道部があるが、ここは浜田公民館が 1 階にあり、公民館の利用者が多く、利用スペースが少ないため教育委員会を移動させ公民館機能の強化を図ることも検討している。

委員	公民館全体を使用出来るようにするとお聞きしたが、サークル活動で使用する場合、福祉センターや石見公民館等は高齢者であれば無料で使用出来るが、一般はそういった施設が少ないため、是非進めていただきたい。
浜田市	現在は検討段階であり、全てを公民館と出来るかは未確定である。ご意見を参考に検討を進めていきたい。
委員	国民宿舎千畳苑は特別会計から一般会計へ移行したことにより対象施設となったとあるが、他の特別会計の施設にはどういったものがあるのか。
浜田市	全てを認識しているわけではないが、例えば市営の立体駐車場や公設水産物仲買売場が特別会計である。
会長	事務局から説明のあった別冊(平成 28 年度版)については、了承ということでしょうか。
全委員	よい。

**委員意見**

**その他について**

委員	ふるさと納税については一般会計に繰り入れると聞いているが、具体的な資金使途について伺いたい。
浜田市	現段階で具体的な使途については決まっていない。方針を検討中であり、12月議会では方針を説明したいと考えている。ふるさと納税の歳入については行革の効果額として挙げており、既存事業に財源振替ができないか検討している。新規事業ばかりに使用すると行革効果が出ないため、バランスを見ながら方針を出して行こうと考えている。
委員	世界こども美術館の運営状況は年間約8千万円の支出があるが、収支差額について伺いたい。
浜田市	年間8千万円については市の指定管理料や補助金であり、イコール収支差額である。今年度の行革実施計画に、世界こども美術館、石正美術館、石中央文化ホールの運営見直しを挙げており、平成28年度からは年1,255万円削減する計画としている。あわせて教育文化振興事業団は赤字が続いており、あり方の検討についても行革の実施計画に挙げており、平成33年度にかけ、この2つを検討していくこととなる。
委員	公共事業は利益を追求する場ではない。年間8千万円支出されるのであれば、子供1人200円の入館料とすると40万人の集客がないとペイ出来ない。利益の追求ではなく、市民に憩と教育の場の提供であり、私が言いたいのは8千万円の費用抑制が出来ないのかといったことである。世界こども美術館を運営している教育文化振興事業団からの拠出はあるのか。
浜田市	毎年、基金を取り崩しながら運営を行っている。赤字の状況が続いている状況であり、行革の中で検討することとしている。
委員	安全安心なまちづくりということで自主防災組織が出来たと認識している。各自治会、集落単位で立ち上げているが避難誘導に係る器具、避難場所設置に当たる器具等々に係る補助金が市より支給されているが、全く活動していない団体もあると思われる。補助金を出すのであれば、避難訓練や避難誘導等を実施するよう制約や指導はあったのか。今月21日に鳥取県で地震があり大変な被害を被った。山陰沖の津波についても当初3.1mから6.8mに変更された。津波の前には地震が来るが、その点について対策をどの程度立てているのか伺いたい。
浜田市	自主防災組織の組織率は上がってきているが、50%程度と十分ではないと思っている。昨年度作成した総合振興計画においては平成34年度で85%の目標としており、様々な視点から自主防災組織設立促進を行っている。活動に温度差があるとのこと指摘について、備品等を配布することについては国からの補助金等を使って整備しているがこれについては整備する段階で計画を出してもらい計画に基づき購入・配備してもらっている。市の方からこういう物を準備されませんかといった働きかけは行っておらず、例えば防災出前講座を通じ制度の紹介を行っているのが現状である。避難訓練等についても、特に自主防災組

	<p>織について市の方から一律的にこういう時期に避難訓練等の防災活動をしてくださいといった働きかけはしておらず、防災出前講座を通じ徐々に働きかけを行っている。そういった活動が自主防災組織全体に広がっていくよう、今後も継続して行っていきたいと考えており、ご協力をお願いしたい。地震については先般鳥取県中部地震が発生し、島根県においてもいつ同じようなことが発生するか危惧しているところである。津波想定については県が見直しを行っており、今年度末に新しい津波想定を出されることとなっており、浜田市の津波ハザードマップも見直しを行う。平成 29 年度の総合防災訓練については地震をテーマとすることを考えており、そういった場を通じ防災意識の向上に努めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>6.8mの津波が来た場合、浜田川をさかのぼり相生町辺りまで全て浸水することとなる。危機感を持っていないとどうにもならない。人口密度の高い浜田自治区内において避難誘導を誰がするのか、避難をしたところのケアを誰がするのかといったところについて自主防災組織の関心がなく、自主防災組織も一つの団体であるならば、やはり総合防災訓練を一緒に行い、防災意識を高めていただきたい。平成 29 年度は浜田自治区において総合防災訓練が実施される。平成 29 年度は浜田自治区において“総合的に”防災訓練を行いたいと考えており、ひとつ協力をお願いする。</p>
浜田市	<p>6.8mの津波については新聞報道があったものであるが、浜田市全体が 6.8 mの津波に襲われるのではなく、一番高い所つまり長浜突端の海岸付近で最大 6.8mと推計されている。浸水想定エリアも拡大しており、例えば熱田、長浜、松原、殿町辺りは浸水想定区域が広がると想定されている。市役所付近は、以前は想定区域外であったが、見直し後は 30 cm～40 cm程度浸水すると想定されている。全てが 6.8mで浸水するわけではなく、市民が誤解しないよう皆さんからも市民の方に情報提供を行っていただきたい。</p>
委員	<p>鳥獣被害、特にツキノワグマの対策の方針について伺いたい。</p>
浜田市	<p>浜田市においても鳥獣被害が発生していることから、国、県に対し強い危機感を持ち要望している所である。現状については、熊の目撃情報が非常に多く、放置された里山の柿類を取りに来ており、山と人の居住エリアの境界が無くなって来ていると認識している。次にイノシシについてであるが、ここ数年は年間 1,500 頭、今年・昨年は有害鳥獣と狩猟あわせて年間 1,800 頭捕獲している。毎年 100 頭ずつ増加しており対策が必要と認識している。その他には猿やヌートリア、シカも畑を荒らしている。対策としては市で 2 千万円程度の対策費を確保して防護柵、防護ネット、またある地区では町全体を囲む取組みを試験的に、モデル的に行っている。今後については、市の農林振興課のみではなく、各自治区の産業建設課と協同で対策を強化していきたいと考えている。</p>